

 ペリージョンソン レジストラー					
審査番号	A2025-01967	被審査組織	社会福祉法人 光輪会		
審査日	2025.2.14	所在地	宮崎県宮崎市橘通東1丁目7番18号		
審査種別	ANSA1-8	審査分類	単一事業所	審査員	小路伸一郎
規格	ISO9001:2015（追補版適用）			審査形式	☐ 統合 ☐ 複合 ☐ 合同 ☒ 非該当

審査報告書

1. ステージ2 審査（拡大審査のステージ2を含む）

ステージ2 審査報告の有無 ☐ あり ☒ なし（以下この項目の記載は不要）

1-1. ステージ2のみ（拡大審査を含むステージ2 審査のみ）

- ☐ ステージ1での懸念事項は、すべて解消している
- ☐ ステージ1での懸念事項は、今回、不適合として顕在化された（不適合# 参照）
- ☐ ステージ1での懸念事項がほとんど解消されておらず、審査結論に示す通りの処置を行った（審査報告書参照）

1-2. マネジメントシステム全体（拡大の場合は拡大領域全体）の適合の概要

（拡大領域は／新規認証範囲は）組織のマネジメントシステムの運用がすべての要求事項へ適合しているか。

- ☐ ステージ1の作業文書で確認したマネジメントシステムの計画は、実施され適切に維持または／及び改善されていた
- ☐ ステージ1の作業文書で確認したマネジメントシステムは運用段階で一部の要求事項に適合しておらず、ステージ2での指摘事項となった（詳細は下記『プロセスの有効性』参照）

上記の証拠として、ステージ1 審査作業文書の懸念事項となった要素の計画、運用の状況、有効性の証拠を報告すること：

2. プロセスの有効性（ステージ2を含むすべての審査）について、所見及び審査員が所見に至った確認事項

- ※ 審査証拠は情報のサンプリングによるものであって、それに基づいて適合性の確認を行うため、それ以外の部分において必ずしも不適合がないというわけではない
- ※ 審査チームリーダーは以下を確認していることをレビューし、チェックすること
- ☒ プロセスに適用される要求事項（顧客・利害関係者の要求、規制を含む順守事項）
- ☒ 規格の目的に応じた各プロセスのリスク対応、目標管理の状況、KPIの運用、監視・評価
- ☒ プロセスの目的、目標を達成するために必要な資源の運用、内部外部とのコミュニケーションの状況
- ☐ 前回の指摘事項の対応（多数サイト認証の場合、影響度分析と是正処置の水平展開も確認し、その内容を前回「不適合報告書」の「次の審査での修正、是正処置の有効性の確認」項目に記載すること）、内部監査の指摘、苦情、不適合への対応（該当する場合）
- ☒ プロセスの変更の影響（該当する場合）、継続的改善の状況
- ☐ 一時サイトへ訪問した場合（該当する場合）は、そのサイト名称、所在地、訪問日（ただし、事前に審査計画書（F-184）に示している場合は省略可）を記述

審査したプロセス： 小路審査員

老人デイサービスプロセス

プロセスの概要及び状況：

介護保険法に基づき、通所判定を経て通所を許可された利用者に週間予定表に従い、デイサービス（入浴、バイタルチェック、食事、レクリエーション、送迎）を提供している。

該当プロセスの基準（ルール、基準、顧客要求事項等）：

デイサービス業務マニュアル、老人福祉法、介護保険法、消防法、感染症ガイドライン、個人情報保護法

適合性を確認した証拠（観察した証拠・証言、記録）：

サービス提供のサンプリング、管理文書・記録の確認により適合性を確認した。

- ・利用者 A さん（要介護2）へのサービス提供事例をサンプリングした。

審査番号	A2025-01967	被審査組織	社会福祉法人 光輪会		
審査日	2025.2.14	所在地	宮崎県宮崎市橘通東1丁目7番18号		
審査種別	ANSA1-8	審査分類	単一事業所	審査員	小路伸一郎
規格	ISO9001:2015 (追補版適用)			審査形式	☐ 統合 ☐ 複合 ☐ 合同 ☒ 非該当

通所介護計画（健康状態、ケアの上での医学的リスク、特記事項）、サービス担当者会議議事録、利用者名簿、個人記録（バイタルチェックの記録、入浴有り、なし、その日の様子）
食事摂取の結果から、皿の変更など摂取量の増加のための対策を計画し、実施されている。

- ・デイスールーム管理（感染対策状況；利用者のマスク、可動式パーティション、換気状況、温湿度の管理状況）

・与薬管理：薬袋に氏名の記載あり、与薬の際は2名によるダブルチェックあり

・ノロウイルス対策：マスク、エプロン、凝固剤、消毒剤、汚物入れなどの嘔吐対応キットの管理状況、スタッフ会議での対応手順についての教育訓練記録

・入浴介助：浴槽のお湯の水質検査（年 2 回：レジオネラ菌、大腸菌群など）、次亜塩素濃度測定作業の確認結果（03～1.0ppm）、試薬の使用期限（2026 年 7 月）、洗剤の保管状況

・食事介助：食事介助マニュアル、誤嚥吸引・酸素吸入装置（118）の点検状況、看護師による対応体制に関する証言

- ・送迎：送迎マニュアル、事故時の対応マニュアル、ルート表（注事事項）

・緊急事態対応訓練記録（火災・地震・津波）

・内部監査：管理者による定期的なサービスの提供状況チェック（年２回）と指摘事項（内部監査ノート）

有効性を確認した証拠（観察した証拠・証言、記録）：

利用者のバイタル、食事の摂取量などのデータを基に、健康増進のための個別計画をサービス担当者会議で検討し実施している。

利用者および利用者家族からの評価は、非常に高いが、一日の利用者数は目標値には未達であり、居宅介護支援事業所と連携し、利用者の確保を図っている。

なお、近年、転倒等の事故やクレームは発生していない。

よって有効な運用といえる。

プロセスの適合性・有効性（審査員の評価結果）に関して下記より選択し、チェックすること：

☒ 当該プロセスは、基準に適合し、有効に機能している

☐ 当該プロセスは、概ね基準に適合し、有効に機能しているが、一部の不適合が発見されたため不適合として指摘した（不適合報告書番号：_____）

☐ 当該プロセスは、基準に適合せず、有効に機能していないため、重大な不適合を指摘した
(不適合報告書番号：)

審査したプロセス： 小路審査員

配食サービスプロセス

プロセスの概要及び状況：

宮崎市が認定した **65 歳以上の個人**、及び認定はされていないが個人で契約された方に夕食として配食を行い、同時に安否確認を行っている。

午後 2 時 30 分から、配食準備が始まり、午後 6 時前後に配達が完了する。在宅支援推進員 3 名、3 台の配食車で食事を配達している。

該当プロセスの基準（ルール、基準、顧客要求事項等）:

橘保育園運営規定・重要事項説明書、配食サービス業務マニュアル、配食予定表等

適合性を確認した証拠（観察した証拠・証言、記録）:

- ・Oさんのサービス開始事例をサンプリングし、配食サービスの運用状況を確認した。

宮崎市高齢者等在宅福祉事業利用認定通知書、宮崎市高齢者等在宅福祉事業サービス提供者連絡票、家族との連絡状況（開始日等の決定）、配食計画・日誌、配食・便宜弁当予定表（配食ソフトの入力データ照合）、配食管理ソフト、配食予定表、配食サービス業務マニュアル、配食車記録、安否確認の状況

・特別食の管理：責任者が初回配食時にヒヤリング、配食計画・日誌への登録（軟らかさ、量、刻みかどうか、アレルギーなど）、備考に詳細な情報を記載

 ペリージョンソン レジストラー					
審査番号	A2025-01967	被審査組織	社会福祉法人 光輪会		
審査日	2025.2.14	所在地	宮崎県宮崎市橘通東1丁目7番18号		
審査種別	ANSA1-8	審査分類	単一事業所	審査員	小路伸一郎
規格	ISO9001:2015（追補版適用）			審査形式	☐ 統合 ☐ 複合 ☐ 合同 ☒ 非該当

- ・コミュニケーション：配食ストップ、特別食の要求などは電話、在宅支援推進員へに口頭伝達、要求事項を申し送り簿（ご利用者・申し送り事項）で共有
- ・配食工程の管理：配食したら配食計画・日誌にレ点チェック、配食車保冷ボックス内の温度管理（10℃以下）記録（配食計画・日誌）、配食サービス業務マニュアルに温度管理の基準、オゾン水で清掃、保冷ボックス内部の確認結果
- ・満足度の管理：よろこびの声一覧で満足度のモニタリングを実施。感謝の手紙多数
- ・緊急時対応：配食サービス業務マニュアルに対応手順を規定（事故発生時の対応について）有効性を確認した証拠（観察した証拠・証言、記録）：

アクションプランからの目標を確認した。食数目標 70 食/月のところ 63.1 食/月で未達であり、居宅支援事業所との連携により市役所認定食数の増加を図っている。

利用者から、多くの感謝の手紙が届いており、利用者の満足度が高いといえる。

また、利用者に関する情報の共有体制が整備されており、配食忘れは発生しておらず、事故・クレームも発生していない。

よって有効な運用といえる。

プロセスの適合性・有効性（審査員の評価結果）に関して下記より選択し、チェックすること：

- ☒ 当該プロセスは、基準に適合し、有効に機能している
- ☐ 当該プロセスは、概ね基準に適合し、有効に機能しているが、一部の不適合が発見されたため不適合として指摘した（不適合報告書番号： ）
- ☐ 当該プロセスは、基準に適合せず、有効に機能していないため、重大な不適合を指摘した（不適合報告書番号： ）

審査したプロセス：成富審査員

保育サービスプロセス（橘保育園）

プロセスの概要及び状況：

130名の定員に対して保育士23名にて、市への入園申請にて入園が決定した園児を預かり「健康・安全・人権」を基本に保護者の協力のもとに家庭教育の補完として、健康・安全な保育を行っている。

該当プロセスの基準（ルール、基準、顧客要求事項等）：

橘保育園運営規定・重要事項説明書、保育業務マニュアル、ミマモルメ・園児の基本情報、保育記録・個別指導計画等

適合性を確認した証拠（観察した証拠・証言、記録）：

園内のコミュニケーション（インカムを活用し事務所の登降園管理システムと連携）、2024年度保育部門アクションプラン、園内公開研修会 2024.5.24-25（活動案→研修実施→振り返り→研修を受けてレポート→講師のコメント→個別面談）、連絡帳のタグにて来園・降園をシステムに記録→事務所パソコンで確認、サマーキャンプ（各段階での保護者へのお知らせ、サマーキャンプ実施要領）、園だより、クラス懇談会のご報告、連絡帳（保護者とのコミュニケーション）、新しい職場の受入について教育訓練（高齢の保育者には限定した業務を割付）

保育現場確認（保育士が連携し死角をなくす、教室の角にはゴムでカバー、教室は温度管理、1時間に1回の換気、食器は専用陶器使用、誕生会は園庭で開催しデイサービスも参加、人数確認は保育士同士及び事務所と連携、感染症対策）

有効性を確認した証拠（観察した証拠・証言、記録）：

アクションプランにて部門目標「ワークライフバランスを見直し仕事の楽しさ・面白さをそれぞれの形で見つけ・自己実現の達成につなげる」を掲げてグッドポイントを見つけて、気付かせる活動を実施していた。外部講師を招いての園内公開研修会や日常の活動でのグッドポイントを本人に認識させることで、保育士のチベーションの向上を図っていた。

保護者とのコミュニケーションは日々の連絡帳のやり取り、送迎時の会話、クラス懇談会の場

 ペリージョンソン レジストラー					
審査番号	A2025-01967	被審査組織	社会福祉法人 光輪会		
審査日	2025.2.14	所在地	宮崎県宮崎市橘通東1丁目7番18号		
審査種別	ANSA1-8	審査分類	単一事業所	審査員	小路伸一郎
規格	ISO9001:2015（追補版適用）			審査形式	☐ 統合 ☐ 複合 ☐ 合同 ☒ 非該当

にて実施されていた。クラス懇談会では10分ほどの動画にて園児の普段の様子を紹介し、保護者から「保育参観では見られない園児の様子が見れた」と好評であった。

よって、有効な運用といえる。

プロセスの適合性・有効性（審査員の評価結果）に関して下記より選択し、チェックすること：

- ☒ 当該プロセスは、基準に適合し、有効に機能している
- ☐ 当該プロセスは、概ね基準に適合し、有効に機能しているが、一部の不適合が発見されたため不適合として指摘した（不適合報告書番号： ）
- ☐ 当該プロセスは、基準に適合せず、有効に機能していないため、重大な不適合を指摘した（不適合報告書番号： ）

審査したプロセス：

調理プロセス（橘保育園） 成富審査員

プロセスの概要及び状況：

各部門との連携により、保育園児、デイサービス利用者、配食サービス利用者の体質、健康状態、発達状態、アレルギー体質を把握し、それに応じたレシピを工夫して調理を行っている。

該当プロセスの基準（ルール、基準、顧客要求事項等）：

各種業務マニュアル、食品衛生法、大量調理マニュアル、調理レシピ、消防法、感染症ガイドライン

適合性を確認した証拠（観察した証拠・証言、記録）：

- ・衛生管理：調理室への入室（エプロン、ネット、帽子の着用、スリッパは布製禁止、粘着ローラーによる異物除去、手洗い、爪ブラシ、健康チェック、指輪・ビーズ・ニットの着用禁止、従業員の衛生管理点検表）、塩素希釈液で清掃（使い捨ての布使用）、オゾン発生器（夜間）、そのまま口に入れる食材には手袋使用で調理
- ・アレルギー・忌避食材への対応：離乳食進行表、未食・アレルギー食材、保健所におけるアレルギー疾患生活管理指導表、アレルギー対応給食の提供について確認書、除去食指示票、除去食連絡表、栄養日報、除去一覧確認表、昼食連絡表（量、やわらかさ、刻み具合、アレルギー情報）、給食人数表、配食・便宜弁当予定表（量、やわらかさ、アレルギー、容器、調味料形態）
- ・食材の受入れ：肉、牛乳、豆乳等の冷蔵製品（表面温度計で温度を測定、発注書兼検収記録簿、調理日報に記録）
- ・加熱温度管理：食品の加熱各記録（管理基準85℃以上90秒以上）、中心温度計及び表面温度計検証（2台の温度計にて相互確認）
- ・設備・器具の管理：オゾン発生器保守点検表、厨房機器点検記録書、食器洗浄機サービスレポート、外注先一覧、調理施設内機械・器具の不具合・修理等記録

有効性を確認した証拠（観察した証拠・証言、記録）：

園児は離乳食進行表、デイサービス利用者は昼食連絡票、配食サービス利用者は配食・便宜弁当予定表でアレルギー・忌避食材を把握し、栄養士がチェックした除去食一覧確認表を各料理に添付し識別を確実にしており、アレルギー食材や除去食材の混入は発生していなかった。給食試食会での感想、誕生会のメニューへの園児の反応などの連絡帳のコメント・保護者からの聴き取り、デイサービス利用者の反応の介護スタッフからの聴き取り結果は好評であり、更なる満足度の向上を図ってメニューの工夫を実施していた。調理スタッフは調理を楽しく行っており、本プロセスは有効に運用されていた。

プロセスの適合性・有効性（審査員の評価結果）に関して下記より選択し、チェックすること：

- ☒ 当該プロセスは、基準に適合し、有効に機能している
- ☐ 当該プロセスは、概ね基準に適合し、有効に機能しているが、一部の不適合が発見されたため不適合として指摘した（不適合報告書番号： ）
- ☐ 当該プロセスは、基準に適合せず、有効に機能していないため、重大な不適合を指摘した

 ペリージョンソン レジストラー					
審査番号	A2025-01967	被審査組織	社会福祉法人 光輪会		
審査日	2025.2.14	所在地	宮崎県宮崎市橘通東1丁目7番18号		
審査種別	ANSA1-8	審査分類	単一事業所	審査員	小路伸一郎
規格	ISO9001:2015（追補版適用）			審査形式	☐ 統合 ☐ 複合 ☐ 合同 ☒ 非該当

（不適合報告書番号： ）

3. リーダーシップ及びマネジメントシステムの有効性について

3-1. 組織のマネジメントシステムは、組織の目的、マネジメントシステムの意図する目的※に対して、どうだったか。

- ☒ 有効であった
☐ 一部において改善が必要であった（詳細は、不適合報告書番号 を参照）

※ 審査員は、上記結論に到達する際には、組織のMSは、IAF発行の「期待される成果」の意図を満足することを考慮すること。※期待される成果の情報は、以下のURLにて入手可能

<https://www.jab.or.jp/files/items/913/File/ExpectOutcomesISO9001ja.pdf>
<https://www.jab.or.jp/files/items/913/File/ExpectOutcomesISO14001ja.pdf>

3-2. リーダーシップ、マネジメントシステム全体の適合性及び有効性について、上記に関連して審査員が結論に至った根拠、確認した事項

※ 審査チームリーダーは以下を確認していることをレビューし、チェックすること。

- ☒ 取り組むべき課題や利害関係者の見解の決定手順、及びリスク・機会の変化への対応を含む、方針、並びにマネジメントシステムの計画の展開の状況
☒ 組織の目的、マネジメントシステムの意図する結果に対する達成の状況、パフォーマンス（内部監査を含む）及び評価と結果に基づく、経営判断（マネジメントレビューのアウトプット）
☐ 前回の指摘事項、重大な事故・苦情への対応、再発防止
☒ 内部外部環境の変化、リスク・機会の変化に対するマネジメントシステムの変更、継続的改善の状況
☐ それまでのサーベイランス審査報告書のレビュー（MFR）からの指示事項を含む、3年間でのMS全体の有効性（再認証審査のみ）
☒ マネジメントシステム、プロセスの優れていた点、称賛事項

検証結果（インタビュー対象者の明記も含めること）：

弘中園長にお話を伺った。

最大の課題は、人材の確保である。

特に保育スタッフの確保・定着が難しく、利用者（園児）を受け入れられず、園児数の目標値を大きく下回っている状況である。保育スタッフの定着のために、昨年4月から延長保育の時間を短縮（20:00→19:00まで）するという決定を行った。さらに、今年4月からは利用者の定員を減らし保育スタッフの負担を軽減する予定である。

デイサービスでは利用者が収益分岐点である14名を下回っている。そのため既存の利用者に対し、利用回数を増やす提案を行っている。今後、利用者確保のための活動を強化する予定である。

保育以外の部門も含め、労働環境を改善し、職員の定着を図り、“やすらぎと感動の提供”の理念のもと、サービスの質を維持、向上させたい、とのことである。

各部門の目標はアクションプランに明確にされ、月2回のリーダー会で進捗が管理されている。

また、40年以上継続している「園だより」は、施設の取り組みや活動状況が詳細に伝えられており、利用者とのコミュニケーションに大きく貢献しているといえる。

保育サービスでは、園内公開保育研修（保育の状況を監査員が観察し、評価する）を内部監査として実施している。デイサービスでは管理者が業務状況をチェック（年2回）、配食サ

 ペリージョンソン レジストラー					
審査番号	A2025-01967	被審査組織	社会福祉法人 光輪会		
審査日	2025.2.14	所在地	宮崎県宮崎市橘通東1丁目7番18号		
審査種別	ANSA1-8	審査分類	単一事業所	審査員	小路伸一郎
規格	ISO9001:2015（追補版適用）			審査形式	☐ 統合 ☐ 複合 ☐ 合同 ☒ 非該当

ービスでは毎日の検食及び調理プロセスの確認（日報など）にて内部監査が実施されており、業務のリスクにアプローチした有効な監査といえる。

マネジメントレビューは、月2回のリーダー会議（経営戦略会議）にて必要な情報が報告され、園長からの具体的な指示が出されている。

近年、提供するサービスに関する利用者、利用者家族からの苦情は発生していない。

また、老人デイサービスでは近年、転倒等による骨折や怪我などのアクシデントは発生していない。利用者、利用者家族から示される意見に対しても迅速に対応しており、サービスの提供レベル、顧客の満足度が非常に高いと判断できる。

よって、有効なシステム運用といえる。

適合の証拠（文書化された情報、その他）の列挙：

アクションプラン、リーダー会年間計画、園内公開保育研修の評価記録、苦情・要望等への対応記録簿、サービス担当者会議記録、管理者内部チェック、配食検食記録簿、光輪会リーダー会（経営戦略会議）議事録

4. 認証表明、ロゴマークの使用など（サーベイランス審査、再認証審査のみ）

審査員は、最新の「PRO-3 認証の表明/広告宣伝及びPJRロゴ、規格ライセンス機関ロゴ及び認定機関シンボルの使用手順」に基づき、認証の表明が実施されていたもの及びその適合（OK）・不適合（NG）についてチェックボックスにチェックを入れること。

☐ ロゴマーク及び認証の表明は行われていない。（以下この項目の記載は不要）

＜確認した項目＞

使用	対象	OK	NG	使用	対象	OK	NG
☒	組織の看板・建物・車両・封筒等	☒	☐	☒	Web ページ	☒	☐
☒	名刺（認証範囲外の要員の名刺を含む）	☒	☐	☐	カタログ	☐	☐
☐	製品の外装	☐	☐	☒	PJR 登録証（コピー、付属書を含む）の掲示状態	☒	☐
☐	会社案内	☐	☐	☐	その他（ ）	☐	☐

審査チームは上記を確認し、ロゴマークの使用、認証の表明について、どう判断したか。

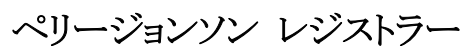
- ☒ 適切であると判断した
- ☐ 不適合であると判断した（不適合報告書番号 参照）

5. マルチサイトの場合に回答すること：

- マルチサイトか否か
- ☒ マルチサイトではない（以下この項目の記載は不要）
- ☐ マルチサイトであるがすべてのサイトを訪問審査した（以下この項目の記載は不要）
- ☐ マルチサイトである（以下の項目を記載すること）

内部監査：

- a) 今回訪問していないサイトについて、中央事業所のマネジメントシステムは有効だったか
- ☐ 有効であった ☐ 有効とは言えない
- b) 今回訪問していないサイトの内部監査は有効だったか



☐ 有効な内部監査が実施されていた

☐ 前回の審査以降内部監査の未実施があり、中央事業所の監視が有効でない

今回訪問しなかったサイトの情報は、そのパフォーマンスを含めて、経営者にレビューされていたか

- 上記の有効性、適合性の概要、証拠を示すこと

改訂レベル 1.8
8 / 10ページ

 ペリージョンソン レジストラー					
審査番号	A2025-01967	被審査組織	社会福祉法人 光輪会		
審査日	2025.2.14	所在地	宮崎県宮崎市橘通東1丁目7番18号		
審査種別	ANSA1-8	審査分類	単一事業所	審査員	小路伸一郎
規格	ISO9001:2015 (追補版適用)			審査形式	☐ 統合 ☐ 複合 ☐ 合同 ☒ 非該当

8. 審査プロセスマトリックス

審査基準: ☒ ISO9001:2015 ☐ ISO14001:2015 ☐ ISO 45001:2018											
プロセス	マネジメント	事務	保育サービス	老人デイサービス	調理	配食					
RC-7	C	C	C	C	C	C					
ANSA1-8	C	C	C	C	C	C					
ANSA2-8	X	X	X	X	X	X					
RC-8	X	X	X	X	X	X					

審査員は作成したマトリックスに該当する注記を選び、チェックボックスにチェックすること。
注記: X: 審査される予定のプロセス C: 適合とされたプロセス NC: 不適合とされたプロセス

ステージ2 審査、再認証審査

☐ すべての規格箇条を審査した

ステージ2 審査、再認証審査以外の審査

☒ すべての規格箇条を審査した

☐ 審査しなかった規格箇条があったため、以下に列記した

()

 ペリージョンソン レジストラー					
審査番号	A2025-01967	被審査組織	社会福祉法人 光輪会		
審査日	2025.2.14	所在地	宮崎県宮崎市橘通東1丁目7番18号		
審査種別	ANSA1-8	審査分類	単一事業所	審査員	小路伸一郎
規格	ISO9001:2015 (追補版適用)			審査形式	☐ 統合 ☐ 複合 ☐ 合同 ☒ 非該当

9. シフト審査結果と計画

- a) シフト数はいくつだったか

☒ 総シフト数は1である（以下b）の記載は不要、c）を記載すること）
☐ 総シフト数は2以上ある（以下b）、c）を記載すること）
- b) シフト数が2以上だった場合、代替審査は可能か

☐ 代替審査は不可能であり、複数のシフトを審査する必要がある（シフト計画： ）
☐ 代替審査は可能である（審査員は下記から理由を選択すること）

☐ 各シフトで異なるプロセスはない（すべての規格）
☐ 各シフトで異なる環境側面及び環境影響がない（EMSの場合）
☐ 各シフトで異なる危険源及びリスクがない（OHSMSの場合）
☐ 各シフトで要員の力量に異なる要求事項はない（すべての規格）
☐ 各シフトで異なる設備管理は実施されていない（すべての規格）
☐ 各シフトで異なる手順はない（すべての規格）
☐ 各シフトで品質不良の発生状況に偏りはない（QMSの場合）
☐ 各シフトで環境パフォーマンスに偏りはない（EMSの場合）
☐ 各シフトで労働安全衛生パフォーマンスに偏りはない（OHSMSの場合）
- c) 前回審査時の情報からの変更の有無

☒ 変更無
☐ 変更有

シフトの状況（ ）
- 以上
- 文書番号
WB-QEO-ST2J

発行日: 2018/04/01
施行日: 2024/07/26

改訂日: 2024/07/26
翻訳日: N/A

改訂レベル 1.8
10 / 10ページ